

# I 調査結果の概要

# 1 要 旨

平成18年9月現在における集出荷組織数は、野菜で2,110組織、果実で1,600組織、花きで2,990組織となっており、これらの集出荷組織の取り扱った平成17年産の青果物（野菜14品目、果実18品目）及び花き（4類5品目）（以下同じ。）の出荷量は以下のとおりである。

## (1) 野 菜

平成17年産の野菜の集出荷を行った集出荷組織数は2,110組織で、これを組織別にみると集出荷団体が1,470組織、集出荷業者が604組織、産地集荷市場が32組織となっている。

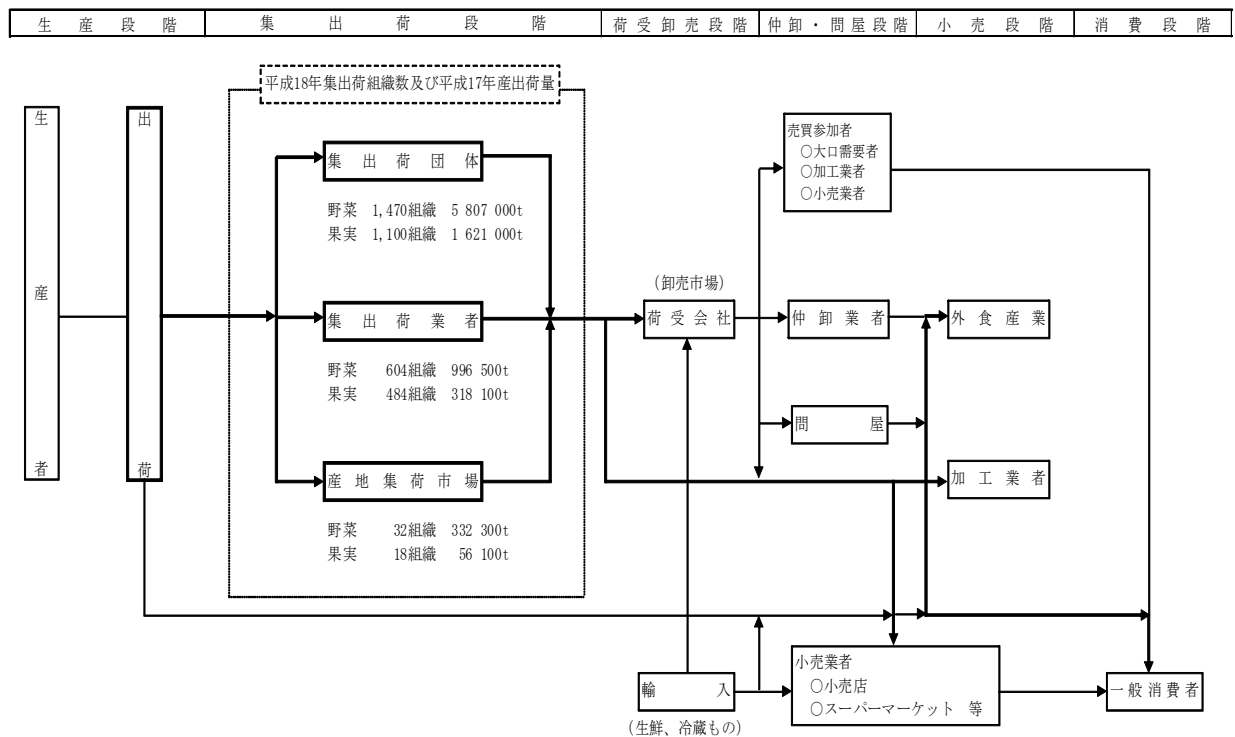
また、これらの組織が取り扱った平成17年産の野菜の出荷量は713万6,000 tで、これらを集出荷組織別にみると、集出荷団体が580万7,000 t、集出荷業者が99万6,500 t、産地集荷市場が33万2,300 tとなっている。

## (2) 果 実

平成17年産の果実の集出荷を行った集出荷組織数は1,600組織で、これらを組織別にみると集出荷団体が1,100組織、集出荷業者が484組織、産地集荷市場が18組織となっている。

また、これらの組織が取り扱った平成17年産の果実の出荷量は199万6,000 tで、これらを集出荷組織別にみると、集出荷団体が162万1,000 t、集出荷業者が31万8,100 t、産地集荷市場が5万6,100 tとなっている。

図 1 青果物の集出荷組織数・出荷量と主な流通経路



### (3) 花 き

平成17年産の花きの集出荷を行った集出荷組織数は2,990組織で、これらを組織別にみると集出荷団体は922組織、集出荷業者は26組織、産地集荷市場は1組織、多量出荷農家は1,710戸、協業経営体は21組織、会社は305社となっている。

また、これらの組織が取り扱った平成17年産の切り花類の出荷量は34億5,200万本で、これらを集出荷組織別にみると、集出荷団体が30億6,000万本、集出荷業者が2,330万本、多量出荷農家が2億8,850万本、協業経営体が844万本、会社が7,160万本となっている。

## 2 解説

### (1) 野菜

#### ア 集出荷組織数

平成17年産の野菜の集出荷を行った集出荷組織数は2,110組織で、前回調査時（平成13年5月現在、以下同じ。）に比べて1,550組織（前対比42%）減少した。これを集出荷組織別にみると集出荷団体が1,470組織、集出荷業者が604組織、産地集荷市場が32組織で、前回調査時に比べて集出荷団体は1,230組織（46%）、集出荷業者は314組織（34%）、産地集荷市場は7組織（18%）減少した。

集出荷組織の推移をみると、昭和60年以降、集出荷団体は農協の合併や任意組合の解散等により、集出荷業者は廃業等により、それぞれ減少傾向となっている。

表1 野菜の集出荷組織数の推移

単位：組織

区分	昭. 55	60	平. 3	8	13	18
集出荷組織計	7 520	7 430	6 170	5 260	3 660	2 110
集出荷団体	5 850	5 960	4 950	4 060	2 700	1 470
総合農協	3 600	3 550	3 150	2 540	1 810	1 110
専門農協	58	43	40	40	42	23
任意組合	2 180	2 370	1 760	1 490	851	342
集出荷業者	1 630	1 430	1 180	1 160	918	604
産地集荷市場	48	39	41	38	39	32

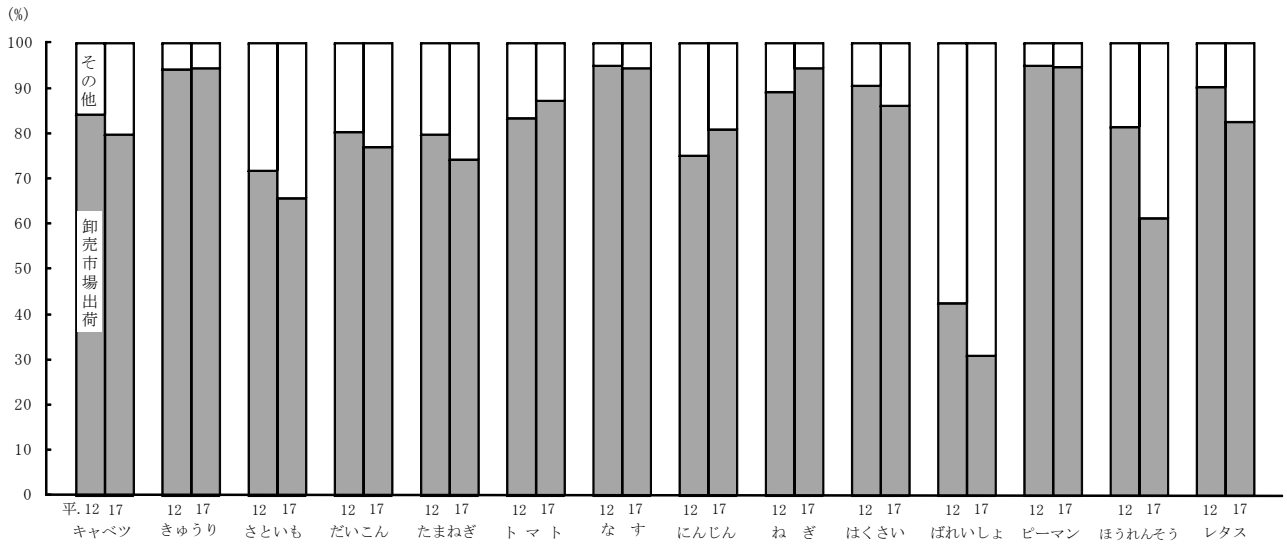
#### イ 出荷量

##### (ア) 出荷先別出荷量割合

集出荷組織の出荷先別の出荷量割合をみると、野菜計では卸売市場への出荷割合が70%となっている。

卸売市場への出荷割合が前回調査時に比べて上昇している品目は、にんじん81%（前回調査75%）、ねぎ94%（89%）、トマト87%（83%）となっている。一方、卸売市場への出荷割合が前回調査に比べて低くなっている品目は、ほうれんそう61%（81%）、ばれいしょ31%（43%）、レタス82%（90%）、はくさい86%（91%）となっている。

図2 野菜の品目別・出荷先別出荷割合

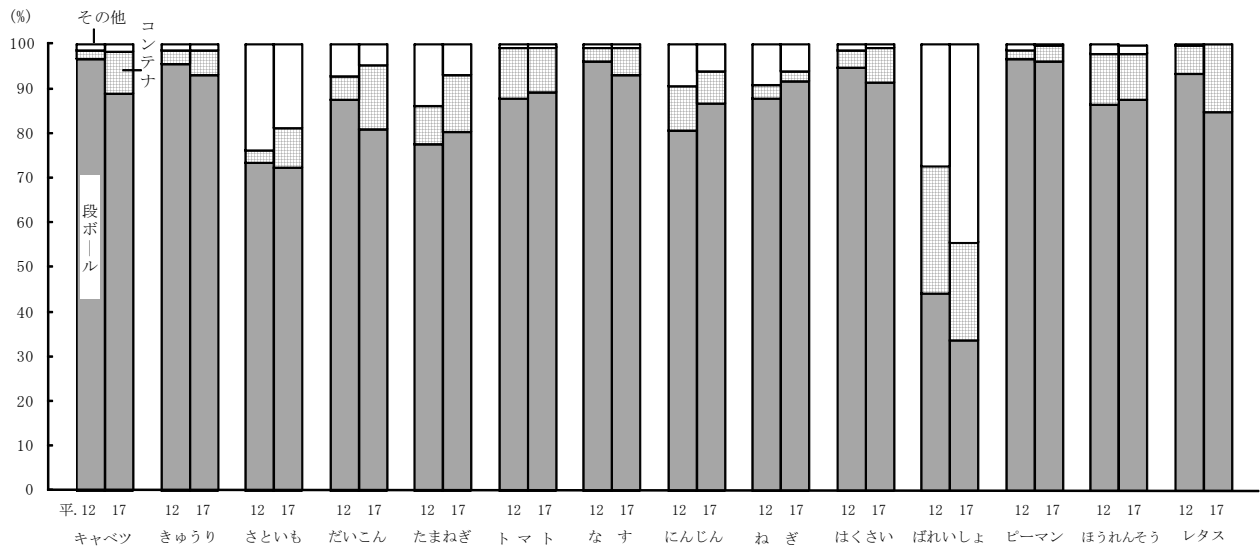


(イ) 出荷形態別出荷割合

集出荷組織の出荷形態別の出荷割合をみると、野菜計では段ボールによる出荷が75%、コンテナによる出荷が13%、その他（ネット等）による出荷が12%となっている。

段ボールによる出荷割合が前回調査に比べて低下している品目は、キャベツ89%（前回調査97%）、レタス85%（93%）、だいこん81%（87%）となっており、出荷コスト削減につながるコンテナでの出荷割合が進んでいることが伺える。一方、ばれいしょでは段ボール34%（44%）、コンテナ22%（29%）と低下し、その他（トラックへの直接積載）が44%（27%）と上昇している。

図3 野菜の品目別・出荷形態別出荷割合

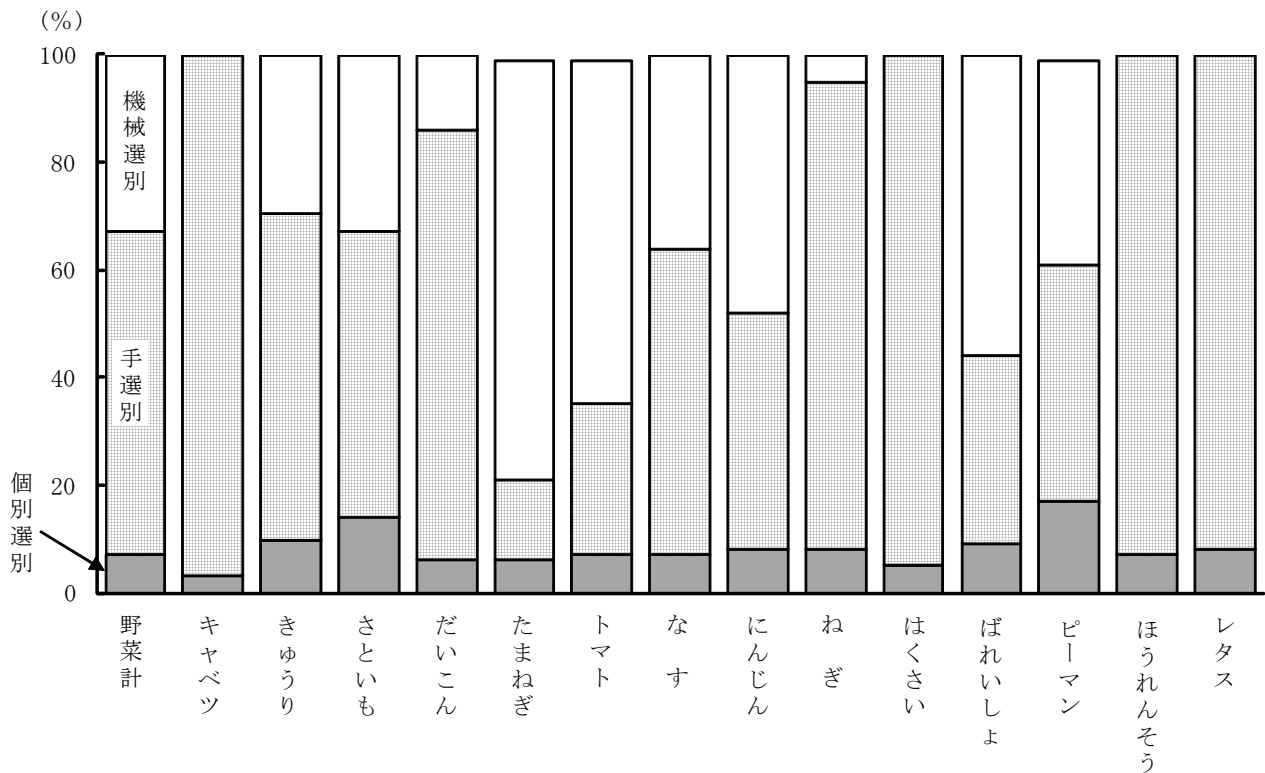


(ウ) 集出荷団体における選別方法別出荷割合

集出荷団体の選別方法別出荷量割合をみると、野菜計では共同選別による出荷が93%となっている。

品目別にみると、共同選別のうち機械選別による出荷の割合が高い野菜は、たまねぎが78%と最も高く、次いでトマトが64%、ばれいしょが56%となっている。また、共同選別のうち手選別による出荷割合が高い野菜は、キャベツが97%と最も高く、次いでほうれんそうが95%、ほうれんそうが93%となっている。

図4 野菜の品目別・選別方法別出荷割合



ウ 施設の保有状況

平成18年9月現在で、野菜を取り扱っている集出荷組織のうち、集荷場を保有する組織数は、1,830組織、集荷場の箇所数は5,290箇所である。集荷場の保有率（野菜を集出荷している集出荷組織に占める保有組織数の割合。（以下同じ。））は87%となっている。

選別場のうち手選別場を保有する組織数は810組織、箇所数は1690箇所であり、保有率は38%となっている。

予冷施設の保有状況は、強制通風式を保有する組織数が最も多く567組織となっており、室数は1,760室で、保有率は27%となっている。

貯蔵施設の保有状況は、低温貯蔵庫を保有する組織数が最も多く639組織となっており、棟数は1,400棟で、保有率は30%となっている。

表2 施設種類別の保有組織数及び保有数

区 分	集 出 荷 組 織 数	集 荷 場		選 別 場				予 冷 施 設	
				手 選 別 場		機 械 選 別 場		真 空 冷 却 式	
		組 織 数	箇 所 数	組 織 数	箇 所 数	組 織 数	箇 所 数	組 織 数	基 数
集 出 荷 組 織 計	2 110	1 830	5 290	810	1 690	854	1 420	290	668
集 出 荷 団 体	1 470	1 280	4 470	557	1 360	582	1 100	259	615
総合農協	1 110	1 040	4 140	476	1 230	525	1 000	256	611
専門農協	23	20	37	13	26	10	18	1	x
任意組合	342	224	290	68	113	47	79	2	x
集 出 荷 業 者	604	510	784	246	314	272	321	24	40
産地集荷市場	32	31	35	7	7	-	-	7	13

区 分	予 冷 施 設 ( つ づ き )				貯 蔵 施 設					
	差 圧 冷 却 式		強 制 通 風 式		普 通 倉 庫		低 温 貯 蔵 庫		CA 貯 蔵 庫	
	組 織 数	室 数	組 織 数	室 数	組 織 数	棟 数	組 織 数	棟 数	組 織 数	棟 数
集 出 荷 組 織 計	274	625	567	1 760	415	915	639	1 400	21	35
集 出 荷 団 体	256	593	453	1 570	176	485	357	896	15	26
総合農協	249	585	423	1 530	145	432	317	827	15	26
専門農協	-	-	4	8	6	19	13	34	-	-
任意組合	7	8	26	34	25	34	27	35	-	-
集 出 荷 業 者	18	32	112	184	234	422	272	481	6	9
産地集荷市場	-	-	2	x	5	8	10	21	-	-

エ 集出荷組織の生産・情報の提供状況

平成18年9月現在で、野菜を取り扱っている集出荷組織のうち、情報提供を行っている組織の割合は61%（1,280組織）となっている。このうち、生産者に情報を提供している割合は51%（1,070組織）、消費者に対しては23%（481組織）、業者等実需者に対しては23%（484組織）となっている。

また、情報の提供方法（複数回答）をみると、ファクシミリ30%（630組織）、ホームページが20%（430組織）、電子メール7%（150組織）となっている。

表3 野菜を取り扱っている集出荷組織における情報の提供状況

単位 { 組織数：組織  
構成比：%

区 分	集 出 荷 組 織 数	情 報 提 供 を 行 っ て い る 組 織 数	提 供 先 ( 複 数 回 答 )			情 報 提 供 の 方 法 ( 複 数 回 答 )		
			生 産 者 に 対 し て	消 費 者 に 対 し て	業 者 等 実 需 者 に 対 し て	ホ ー ム ペ ー ジ	電 子 メ ー ル	フ ァ ク シ ミ リ
<b>組 織 数</b>								
集出荷組織計	2 110	1 280	1 070	481	484	430	150	630
集出荷団体	1 470	972	828	391	333	362	111	471
総合農協	1 110	843	738	344	286	331	97	419
専門農協	23	12	8	8	6	6	2	7
任意組合	342	117	82	39	41	25	12	45
集出荷業者	604	295	227	87	143	63	37	150
産地集荷市場	32	17	16	3	8	5	2	9
<b>構 成 比</b>								
集出荷組織計	100	61	51	23	23	20	7	30
		(100)	(84)	(38)	(38)	(34)	(12)	(49)
集出荷団体	100	66	56	27	23	25	8	32
		(100)	(85)	(40)	(34)	(37)	(11)	(48)
総合農協	100	76	66	31	26	30	9	38
		(100)	(88)	(41)	(34)	(39)	(12)	(50)
専門農協	100	52	35	35	26	26	9	30
		(100)	(67)	(67)	(50)	(50)	(17)	(58)
任意組合	100	34	24	11	12	7	4	13
		(100)	(70)	(33)	(35)	(21)	(10)	(38)
集出荷業者	100	49	38	14	24	10	6	25
		(100)	(77)	(29)	(48)	(21)	(13)	(51)
産地集荷市場	100	53	50	9	25	16	6	28
		(100)	(94)	(18)	(47)	(29)	(12)	(53)

注：（ ）内の数値は「情報提供を行っている組織数」を100とした割合である。



## (2) 果 実

### ア 集出荷組織数

平成17年産の果実の集出荷を行った集出荷組織数は1,600組織で、前回調査時（平成13年5月現在）に比べて、680組織（前対比30%）減少した。これを集出荷組織別にみると、集出荷団体が1,100組織、集出荷業者が484組織、産地集荷市場が18組織で、前回調査時に比べて、集出荷団体が480組織（30%）、集出荷業者が194組織（29%）減少したが、産地集荷市場が1組織（6%）増加した。

集出荷組織の推移をみると、集出荷団体は、農協の合併や任意組合の解散等により減少傾向となっている。

表4 果実の集出荷組織数の推移

単位：組織

区 分	昭. 55	60	平. 3	8	13	18
集 出 荷 組 織 計	4 760	4 340	3 620	3 060	2 280	1 600
集 出 荷 団 体	3 360	3 170	2 720	2 230	1 580	1 100
総 合 農 協	2 150	2 010	1 800	1 410	1 020	696
専 門 農 協	99	91	96	93	60	45
任 意 組 合	1 110	1 070	826	727	506	355
集 出 荷 業 者	1 390	1 150	873	813	678	484
産 地 集 荷 市 場	19	22	23	19	17	18

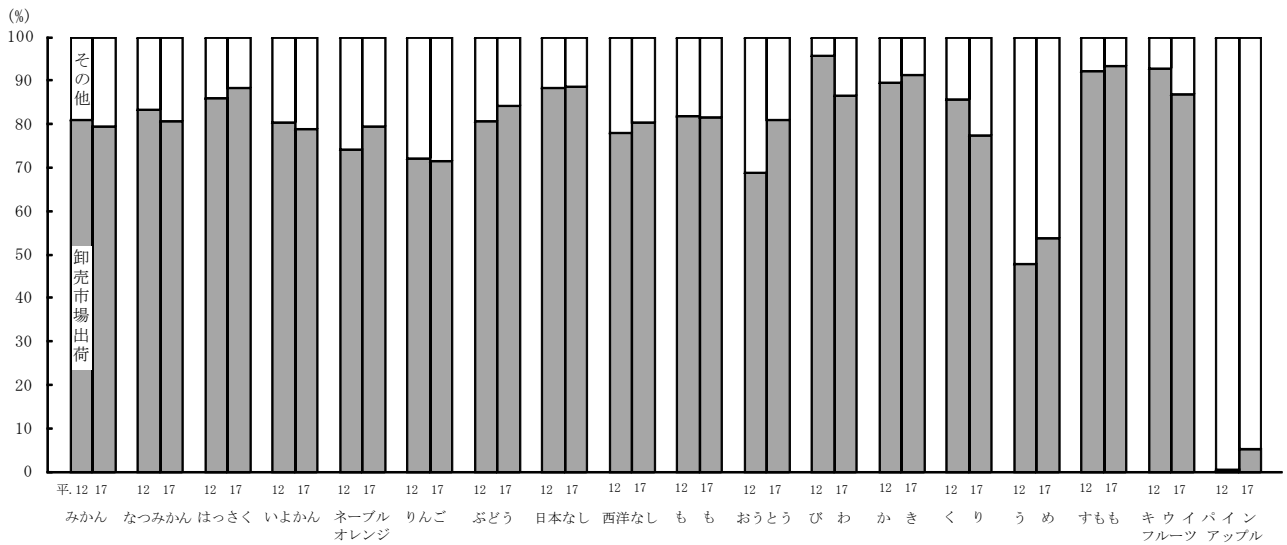
### イ 出荷量

#### (ア) 出荷先別出荷割合

集出荷組織の出荷先別出荷割合をみると、果実計では卸売市場への出荷割合が79%と高くなっている。

卸売市場への出荷割合が前回調査に比べて上昇している品目はおうとう81%（前回調査69%）、うめ54%（48%）、ネーブルオレンジ79%（74%）で、卸売市場への出荷割合が低下している品目は、びわ87%（96%）、くり77%（86%）、キウイフルーツ87%（93%）となっている。

図5 果実の品目別・出荷先別出荷割合

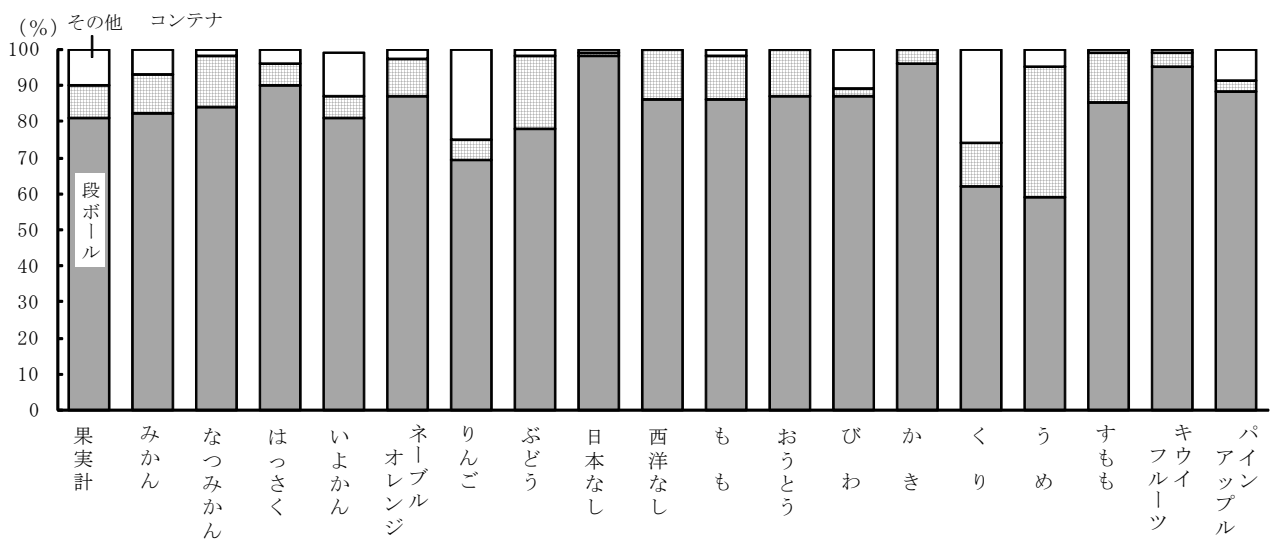


(イ) 出荷形態別出荷割合

集出荷組織の出荷形態別の出荷割合をみると、果実計では段ボールによる出荷が81%、コンテナによる出荷が9%、ネット等による出荷が10%となっている。

品目別にみると、段ボールによる出荷割合が高いのは、日本なし98%、かき96%、キウイフルーツ95%、はっさく91%となっている。一方、コンテナによる出荷割合が高いのは、うめの36%となっている。

図6 果実の品目別・出荷形態別出荷割合

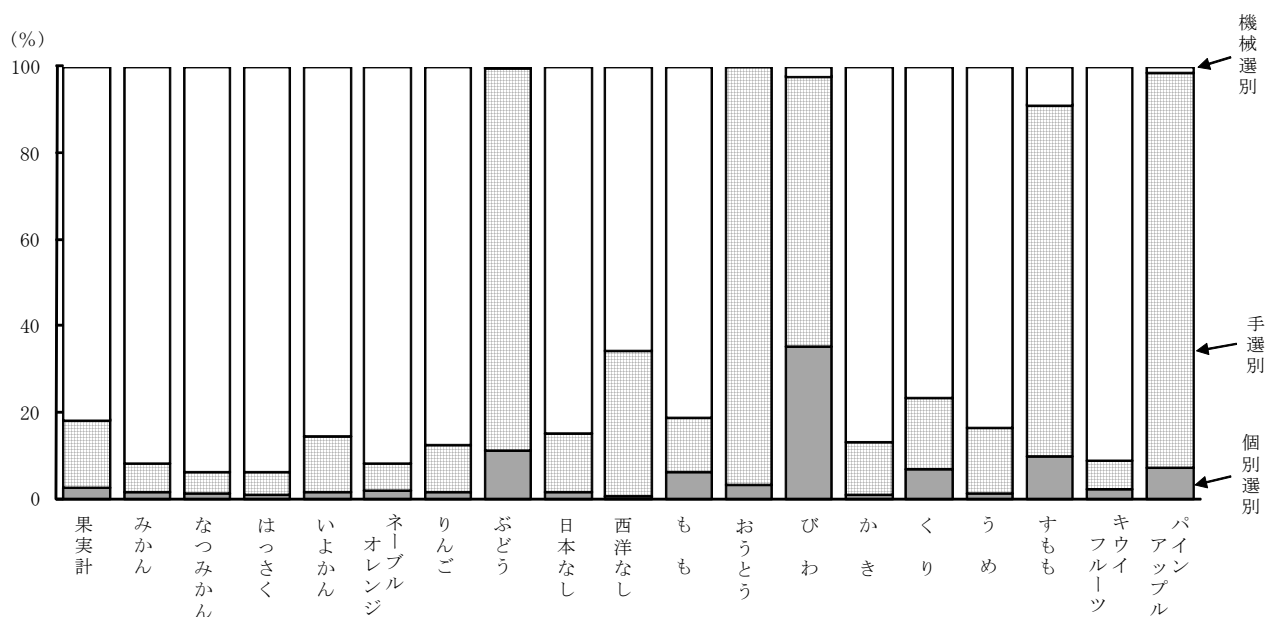


(ウ) 集出荷団体における選別方法別出荷割合

集出荷団体の選別方法別出荷割合をみると、果実計では共同選別による出荷が98%となっている。

品目別にみると、共同選別のうち機械選別による出荷の割合が高い果実は、なつみかん及びはっさくが94%と最も高く、次いでみかん及びネーブルオレンジが92%、キウイフルーツが91%となっている。また、共同選別のうち手選別による出荷割合が高い果実は、おうとうが97%と最も高く、次いでパインアップルが92%、ぶどうが89%となっている。個別選別による出荷割合が高い果実は、びわが35%で最も高くなっている。

図7 果実の品目別・選別方法別出荷量割合



ウ 施設の保有状況

平成18年9月現在で、果実を取り扱っている集出荷組織のうち、集荷場を保有する組織数は、1,330組織、集荷場の箇所数は2,680箇所である。集荷場の保有率（果実を集出荷している集出荷組織数に占める保有組織数の割合、以下同じ。）は83%となっている。

選別場のうち手選別場を保有する組織数は473組織、箇所数は882箇所であり、保有率は30%となっている。

予冷施設の保有状況は、強制通風式を保有する組織数が最も多く177組織となっており、室数は432室、保有率は11%となっている。

貯蔵施設の保有状況は、低温貯蔵庫を保有する組織数が最も多く395組織となっており、棟数は813棟、保有率は25%となっている。

表5 施設種類別の保有組織数及び保有数

区分	集出荷組織数	集荷場		選別場				予冷施設	
				手選別場		機械選別場		真空冷却式	
		組織数	箇所数	組織数	箇所数	組織数	箇所数	組織数	基数
集出荷組織計	1 600	1 330	2 680	473	882	927	1 420	34	60
集出荷団体	1 100	900	2 140	326	714	635	1 080	23	42
総合農協	696	626	1 790	220	460	486	891	16	30
専門農協	45	44	67	13	15	32	43	-	-
任意組合	355	230	281	93	239	117	144	7	12
集出荷業者	484	416	520	143	160	291	338	11	18
産地集荷市場	18	14	15	4	8	1	x	-	-

区分	予冷施設（つづき）				貯蔵施設					
	差圧冷却式		強制通風式		普通倉庫		低温貯蔵庫		CA貯蔵庫	
	組織数	室数	組織数	室数	組織数	棟数	組織数	棟数	組織数	棟数
集出荷組織計	66	147	177	432	298	529	395	813	73	175
集出荷団体	61	139	145	378	113	x	202	x	39	x
総合農協	54	131	125	350	60	179	141	380	28	78
専門農協	1	x	5	11	8	x	11	x	3	x
任意組合	6	x	15	17	45	75	50	85	8	14
集出荷業者	5	8	32	54	184	263	192	311	33	71
産地集荷市場	-	-	-	-	1	x	1	x	1	x

エ 集出荷組織の生産・情報の提供状況

平成18年9月現在で、果実を取り扱っている集出荷組織のうち、情報提供を行っている組織の割合は59%（941組織）となっている。このうち、生産者に対して情報提供をしている割合は48%（760組織）、消費者に対しては26%（423組織）、業者等実需者に対しては22%（348組織）となっている。

また、情報の提供方法（複数回答）をみると、ファクシミリが29%（457組織）、ホームページが20%（321組織）、電子メールが6%（95組織）となっている。

表6 果実を取り扱っている集出荷組織における情報提供の状況

単位 { 組織数：組織  
構成比：%

区 分	集 出 荷 組 織 数	情 報 提 供 を 行 っ て い る 組 織 数	提 供 先 ( 複 数 回 答 )			情 報 提 供 の 方 法 ( 複 数 回 答 )		
			生 産 者 に 対 し て	消 費 者 に 対 し て	業 者 等 実 需 者 に 対 し て	ホ ー ム ペ ー ジ	電 子 メ ー ル	フ ァ ク シ ミ リ
<b>組 織 数</b>								
集出荷組織計	1 600	941	760	423	348	321	95	457
集出荷団体	1 100	717	588	330	245	261	72	331
総合農協	696	528	469	245	185	221	61	261
専門農協	45	29	19	21	9	14	2	11
任意組合	355	160	100	64	51	26	9	59
集出荷業者	484	214	162	90	96	58	23	120
産地集荷市場	18	10	10	3	7	2	-	6
<b>構 成 比</b>								
集出荷組織計	100	59	48	26	22	20	6	29
		(100)	(81)	(45)	(37)	(34)	(10)	(49)
集出荷団体	100	65	53	30	22	24	7	30
		(100)	(82)	(46)	(34)	(36)	(10)	(46)
総合農協	100	76	67	35	27	32	9	38
		(100)	(89)	(46)	(35)	(42)	(12)	(49)
専門農協	100	64	42	47	20	31	4	24
		(100)	(66)	(72)	(31)	(48)	(7)	(38)
任意組合	100	45	28	18	14	7	3	17
		(100)	(63)	(40)	(32)	(16)	(6)	(37)
集出荷業者	100	44	33	19	20	12	5	25
		(100)	(76)	(42)	(45)	(27)	(11)	(56)
産地集荷市場	100	56	56	17	39	11	-	33
		(100)	(100)	(30)	(70)	(20)	(-)	(60)

注：（ ）内の数値は「情報提供を行っている組織数」を100とした割合である。

### (3) 花き

#### ア 集出荷組織数

平成17年産の花きの集出荷を行った集出荷組織数は2,990組織で、前回調査時（平成12年1～3月）に比べて、580組織（前回対比16%）減少した。

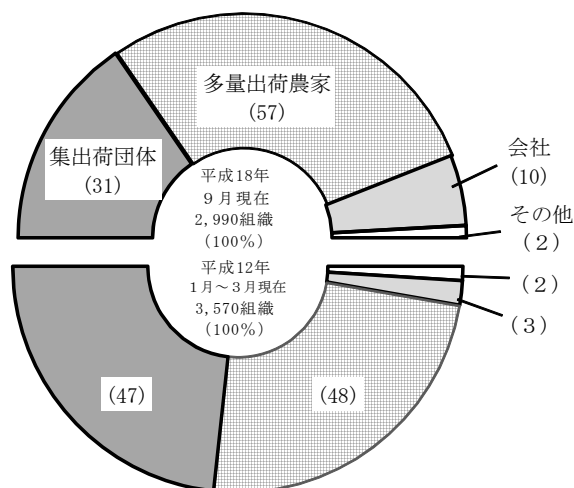
これを集出荷組織別にみると、集出荷団体が922組織、集出荷業者が26組織、産地集荷市場が1組織、多量出荷農家が1,710戸、協業経営体が21組織、会社が305社で、前回調査時に比べて、多量出荷農家は前回並み、集出荷団体では農協の合併等があったため738組織（44%）減少したものの、会社は経営を法人化する農家が増えたこと等から181社（146%）増加している。

表7 花きの集出荷組織数の推移

単位：組織、戸、社

区 分	平. 12	18
集 出 荷 組 織 計	3 570	2 990
集 出 荷 団 体	1 660	922
集 出 荷 業 者	33	26
産地集荷市場	…	1
多量出荷農家	1 710	1 710
協業経営体	39	21
会 社	124	305

図8 花きの集出荷組織数割合の推移



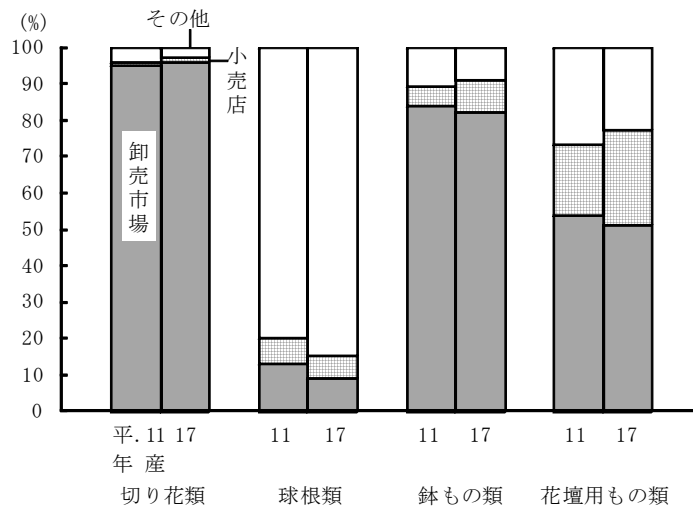
#### イ 出荷量

##### (ア) 出荷先別出荷割合

集出荷組織の出荷先別の出荷割合を見ると、切り花類及び鉢もの類は、卸売市場への出荷割合が高く、それぞれ96%（前回調査95%）、82%（84%）とほとんどが卸売市場へ仕向けられていた。

また、花壇用苗もの類でも卸売市場が51%（54%）と最も割合が高かったものの、小売店への出荷割合が26%（20%）と他の類別に比べて高くなっている。球根類ではその他（種苗会社等）への出荷割合が85%（80%）と最も高くなっており、このうち直接販売が7%あった。

図9 花きの類別・出荷先別出荷割合



(イ) 出荷形態別出荷割合（切り花類）

切り花類の出荷状態別出荷割合（出荷量計）をみると、常温輸送が54%、低温輸送が46%となっており、これを前回調査と比べると、低温輸送が19ポイント上昇しており、鮮度維持のための低温輸送への取り組みが進んでいる。

また、卸売市場へ出荷される低温輸送のうち、湿式・バケツ輸送の占める割合は12%で、品目別にみると、きく7%、カーネーション13%、ばら46%、宿根かすみそう59%、トルコギキョウ27%となっており、品目によっては高い割合で低温、湿式・バケツ輸送が取り組まれている。

また、低温、湿式・バケツ輸送のうちリターナブルバケツを使用した割合は3%で、品目別にみると、きく1%、カーネーション11%、ばら6%、宿根かすみそう10%、トルコギキョウ4%となっている。

図10 切り花類の出荷状態別出荷割合（常温・低温輸送）

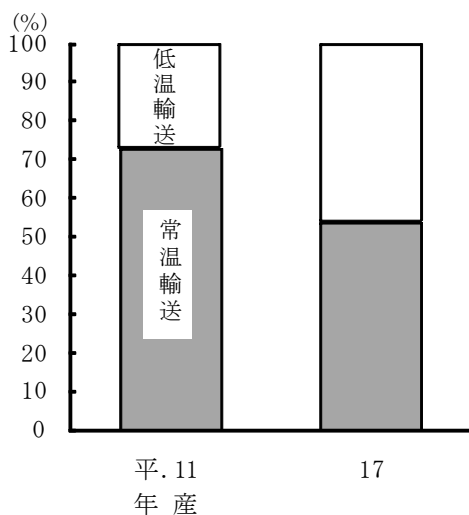
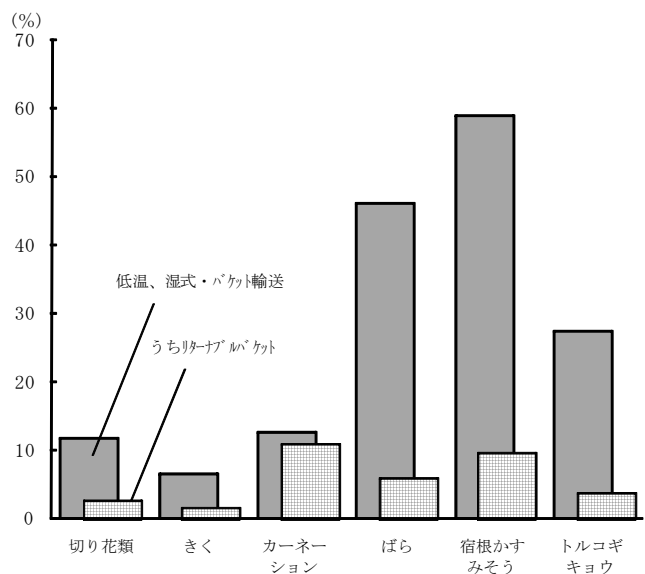


図11 切り花類の出荷状態別出荷割合（卸売市場）（低温輸送のうち、湿式・バケツ輸送、うちリターナブル）



ウ 施設の保有状況

平成18年9月現在で、花きを取り扱っている集出荷組織のうち、集荷場を保有する組織数は、739組織（多量出荷農家、協業経営体及び会社を除く）、集荷場の箇所数は1,510箇所である。集荷場の保有率（花きを集出荷している集出荷組織数に占める保有組織数の割合。（以下同じ。））は78%となっている。

選花機（切り花）を保有する組織数は359組織、箇所数は589箇所であり、保有率は23%となっている。

貯蔵施設の保有状況は、予冷库を保有する組織数が最も多く653組織となっており、棟数は1,250棟、保有率は22%となっている。

表8 集荷場の保有組織数及び保有数

区 分	集 出 荷 組 織 数	集 荷 場	
		組 織 数	箇 所 数
	組織、戸、社	組織、戸、社	箇所
集 出 荷 組 織 計	949	739	1 510
集 出 荷 団 体	922	731	1 510
総合農協	622	567	1 260
専門農協	13	12	28
任意組合	287	152	217
集 出 荷 業 者	26	7	8
産地集荷市場	1	1	x

表9 選花機の保有組織数及び保有数

区 分	集 出 荷 組 織 数	選花機（切り花）	
		組 織 数	台 数
	組織、戸、社	組織、戸、社	台
集 出 荷 組 織 計	1 570	359	589
集 出 荷 団 体	814	93	281
総合農協	607	64	182
専門農協	7	2	x
任意組合	200	27	x
集 出 荷 業 者	6	-	-
産地集荷市場	1	-	-
多量出荷農家	656	235	265
協業経営体	10	2	x
産地集荷市場	86	29	x

表10 貯蔵施設の保有組織数及び保有数

区 分	集 出 荷 組 織 数	貯 蔵 施 設							
		予 冷 庫		普 通 倉 庫		低 温 貯 蔵 庫		CA貯蔵庫	
		組 織 数	棟 数	組 織 数	棟 数	組 織 数	棟 数	組 織 数	棟 数
	組織、戸、社	組織、戸、社	棟	組織、戸、社	棟	組織、戸、社	棟	組織、戸、社	棟
集 出 荷 組 織 計	2 990	653	1 250	486	761	504	889	12	19
集 出 荷 団 体	922	339	741	166	308	140	326	6	12
総合農協	622	289	629	133	253	89	195	5	x
専門農協	13	5	10	3	5	6	37	-	-
任意組合	287	45	102	30	50	45	94	1	x
集 出 荷 業 者	26	2	x	4	x	7	8	-	-
産地集荷市場	1	-	-	-	-	-	-	-	-
多量出荷農家	1 710	269	418	270	366	310	481	5	x
協業経営体	21	4	9	2	x	4	5	-	-
産地集荷市場	305	39	79	44	79	43	69	1	x



エ 集出荷組織の生産・情報の提供状況

平成18年9月現在で、花きを取り扱っている集出荷組織のうち、情報提供を行っている組織の割合は55%（1,630組織）となっている。このうち生産者に対して情報を提供している割合は24%（716組織）、消費者に対しては20%（590組織）、業者等実需者に対しては35%（1,050組織）となっている。

また、情報提供の方法（複数回答）をみると、「ファクシミリ」が28%（825組織）、「ホームページ」が17%（504組織）、「電子メール」が9%（274組織）となっている。

表11 花きを取り扱っている集出荷組織における情報提供の状況

区 分	集 出 荷 組 織 数	情 報 提 供 を行っ てい る 組 織 数	提 供 先 ( 複 数 回 答 )			情 報 提 供 の 方 法 ( 複 数 回 答 )		
			生 産 者 に 対 して	消 費 者 に 対 して	業 者 等 実 需 者 対 して	ホ ー ム ペ ー ジ	電 子 メ ー ル	フ ァ ク シ ミ リ
			組 織 数 : 組 織、戸、社	組 織 数 : 組 織、戸、社	組 織 数 : 組 織、戸、社	構 成 比 : %	構 成 比 : %	構 成 比 : %
<b>組 織 数</b>								
集 出 荷 組 織 計	2 990	1 630	716	590	1 050	504	274	825
集 出 荷 団 体	922	615	515	143	284	142	83	381
総合農協	622	479	436	99	199	107	57	304
専門農協	13	11	10	4	7	7	5	8
任意組合	287	125	69	40	78	28	21	69
集 出 荷 業 者	26	16	8	4	10	4	1	6
産地集荷市場	1	-	-	-	-	-	-	-
多量出荷農家	1 710	783	145	314	607	236	125	347
協業経営体	21	8	1	6	4	7	1	1
会 社	305	203	47	123	145	115	64	90
<b>構 成 比</b>								
集 出 荷 組 織 計	100	55	24	20	35	17	9	28
		(100)	(44)	(36)	(64)	(31)	(17)	(51)
集 出 荷 団 体	100	67	56	16	31	15	9	41
		(100)	(84)	(23)	(46)	(23)	(13)	(62)
総合農協	100	77	70	16	32	17	9	49
		(100)	(91)	(21)	(42)	(22)	(12)	(63)
専門農協	100	85	77	31	54	54	38	62
		(100)	(91)	(36)	(64)	(64)	(45)	(73)
任意組合	100	44	24	14	27	10	7	24
		(100)	(55)	(32)	(62)	(22)	(17)	(55)
集 出 荷 業 者	100	62	31	15	38	15	4	23
		(100)	(50)	(25)	(63)	(25)	(6)	(38)
産地集荷市場	100	-	-	-	-	-	-	-
		(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
多量出荷農家	100	46	8	18	35	14	7	20
		(100)	(19)	(40)	(78)	(30)	(16)	(44)
協業経営体	100	38	5	29	19	33	5	5
		(100)	(13)	(75)	(50)	(88)	(13)	(13)
会 社	100	67	15	40	48	38	21	30
		(100)	(23)	(61)	(71)	(57)	(32)	(44)

注：（ ）内の数値は「情報提供を行っている組織数」を100とした割合である。